

なぜレイジアナを支配し、  
後に売却したのか。

ルイ14世とナポレオンの思惑

3班

# フランス領ルイジアナについて

- 北アメリカ大陸のフランス植民地・ヌーベルフランスの一管轄地域
- ミシシッピ川流域のほとんどを含む
- 広さ 214万km<sup>2</sup>



なぜルイジアナは支配されたのか？

# ルイジアナの当時の諸外国との関係

- スペインのヨーロッパ探検

1528 パンフィロ・デ・ナルパエス率いる探検隊  
がミシシッピ河口に到達

1542 エルナンド・デ・ソトの探検隊が北部と西  
部を通る

1543 メキシコ湾に達する

# フランス

17世紀後半 フランス人とフランス系カナダ人がミシシッピ川とメキシコ湾岸に地域支配と宗教及び交易の拠点を築く

1682 ロベール・カブリエ・ド・ラ・サールがルイ14世にちなんでルイジアナと命名

# ルイ14世の思惑

- コルベールの重商主義
- 海外の植民地経営の積極化
  - ルイジアナ獲得・インドに商館
- →イギリスと衝突、ルイ14世時代を通してのイギリスとの植民地戦争が始まる
- 新大陸におけるイギリスの影響力を制限したい

# なぜルイジアナを支配したのか？

- スペイン領テキサスにおけるスペインとの交易を行うため
- スペインがルイジアナに進出するのを阻止するため
- イギリスに対抗してアメリカで領土を広げるため

# 売却までの流れ

- 1763 七年戦争のパリ条約で、ミシシッピ川以西とニューオーリンズをスペインに、以東をイギリスに譲渡
- 1783 アメリカ独立戦争のパリ条約で、ミシシッピ川以東がイギリスからアメリカに編入
- 1800 サン＝イルデフォンソの密約で、ミシシッピ川以西がスペインからフランスに返還

# 売却の流れ①

フランス(ナポレオン執政下)

イギリスとの対立関係

⇒ルイジアナに侵攻されるのを防ぐため、ニューオーリンズ港を封鎖

⇒スペインによる、アメリカのニューオーリンズにおける預託品の禁止

アメリカ(トマス・ジェファソン執政下)

⇒ニューオーリンズが封鎖されると、交易ができない！

## 売却の流れ②

1802 ジェファースンは特使をパリに派遣  
ニューオーリンズ買収を持ちかける



ナポレオンは、**仏領ルイジアナ全土の売却を提案**

1803 アメリカに、わずか1500万ドルという破格で売却

# なぜ売却したのか①

## ナポレオンの思惑

⇒ハイチでの砂糖生産をルイジアナの穀物生産で補完する  
砂糖貿易中心の新たな植民地帝国を計画



1804年、ハイチで黒人革命が成功し、共和国が誕生



計画は失敗。ルイジアナ領有の意味がなくなる

## なぜ売却したか②

⇒イギリスがカナダから侵攻した場合、防衛ができない



不要となったルイジアナをアメリカに売却し、現金を得る



イギリスとの**戦争の費用**にしよう！（→ナポレオン戦争）

# フランスと外国の関係

## スペイン

1796 第二次サン=イルデフォンソ条約

1800 第三次サン=イルデフォンソ条約

## イギリス

17cから植民地獲得で対立

インド... 1744 カーナティック戦争

1757 プラッシーの戦い

アメリカ... 1754～63 フレンチ=インディアン戦争

1783 アメリカ独立戦争

# まとめ

ルイジアナの支配も売却も、  
ルイ14世とナポレオンの  
「イギリスに対抗する」という共通の  
思惑から実施された